

県民の食育を推進

県と味の素が連携協定

県は23日、大手食品メー

カーの味の素(東京)と「食と健康づくりに関する連携協定」を結んだ。県民の食生活改善や食育の推進などを目指したさまざまな取り組みで味の素の知見やノウ



食と健康づくりに関する連携協定を結んだ古田肇知事(左)と川井謙支社長＝県庁

ハウを活用する。

連携するのは▽食生活の改善▽食育の推進▽男女共同参画の推進▽スポーツ振興に資する食の取り組みの4分野。食生活改善の取り組みでは、野菜がしっかりと取れて減塩にも気遣った4品のレシピを載せたカードを作成し「たっぷり野菜しっかりと減塩キャンペーン」と銘打って今月26日から県内にあるスーパーのバロー70店舗で配る。配布は来月19日までの予定。

ほかに県民向け研修会や栄養教諭・学校栄養職員が対象の研修会、ジュニアアスリート育成プロジェクトへの講師派遣のほか、男性の家事参画を促すレシピの

紹介などで連携していく。

味の素は長野、三重、福井、神奈川の4県と同様の連携協定を結んでおり、都道府県単位では5例目。

締結式が県庁であり、味の素の川井謙名古屋支社長と古田肇知事が協定書に署

名した。川井支社長は、2016年の国民健康・栄養調査で県民の平均野菜摂取量が都道府県別で男女とも全国30位台にあることを示し「味の素は15年から野菜摂取量向上活動『ラブベジ』をスタートさせており、県

民の健康増進にも役立ちたい」とあいさつ。古田知事は「さまざまなノウハウを持つ味の素との連携で相乗効果が期待できる。県民の食生活の充実に一層努力していきたい」と話した。

(古家政徳)